

平成29年度 全国学力・学習状況調査について

遅くなりましたが、今年実施された全国学力・学習状況調査について、本校生徒の概要をお伝えします。

国語A（主として知識）、数学B（主として活用）→国・県の平均正答率をやや下回った。
国語B（主として活用）→国の平均正答率をやや上回り、県の平均正答率とほぼ同じ
数学A（主として知識）→国の平均正答率をやや上回ったが、県の平均正答率をやや下回った。

【国語】○高正解率の出題趣旨 ●低正解率の出題趣旨

- 文章の要旨を捉える。 ○文章に表れているものの見方や考え方について、交流を通して自分の考えを広くする。
- 話の論理的な構成や展開などに注意して聞く。
- 書いた文章を読み返し、語句の使い方を工夫して書く。 ●文章の構成や展開、表現の特徴について自分の考えを持つ。 ●相手にわかりやすいように語句を選択して話す。

文章からの読み取り、要旨を捉えるなどの学力は身につけてきている。今後も、作者の主張や登場人物の心情などを、本文の内容から論理的に考えていくようにしていきたい。

一方、自分の考えや気持ちを表現することや、学習した語句の使い方が課題である。意見交換の場を意図的に作り、自分の意見や考えを人に伝えることによって、よりわかりやすく、より伝わる考えにしていくよう指導していく。また、その際に既習の語句を思い返したり、辞書を用いたりして語彙の数を増やし、書く力での表現力を身につけさせていく。全体での発表やスピーチ機会を増やすことにより、表現力を磨いていきたい。

【数学】○高正解率の出題趣旨 ●低正解率の出題趣旨

- 整式の加法と減法の計算ができる。 ○簡単な一次方程式を解くことができる。 ○簡単な連立二元一次方程式を解くことができる。 ○円柱の体積を求めることができる。 ○命題の仮定と結論を区別し、与えられた命題の仮定を読み取ることができる。 ○与えられた一次関数の表において、変化の割合の意味を理解している。
- 分数の乗法の計算ができる。 ●空間における直線と平面の平行について理解している。 ●見取り図に表された立方体の面上の線分の長さの関係を読み取ることができる。 ●錯角の意味を理解している。 ●与えられた模様について、図形の移動に着目して観察し、対称性を的確に捉えることができる。 ●問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる。

整式の加法や減法、簡単や一次方程式や連立方程式など計算の力は、徐々に定着してきている。今後も、授業前の小テストやチャレンジテストの練習を行い、基本的な計算能力を向上させていきたい。また、図形分野に課題が見られる。具体物を操作するなどの数学的活動を取り入れ、イメージを豊かにできるようにしていく必要がある。

問題 B のように数学を活用したり、説明したりすることが大変困難な状況である。日常生活に数学がどのように関わっているか実感できるような課題の提示、また、既習事項を活用すれば、数学的に問題が解決できたり、新しい解き方が見いだしたりすることを味わえるような授業展開をしていきたい。

【学習状況調査から】○国や県に比べて好ましい傾向の設問 ●改善したい設問

- 朝食を毎日食べていますか。 ○友達の前で自分の意見を発表することは得意ですか。 ○学校の授業以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか。 ○昼休みや放課後、学校が休みの日に本を読んだり、借りたりするために学校図書館や地域の図書室にどれくらい行きますか。 ○家の人は、授業参観や運動会などの学校行事にきますか。 ○家で、自分は計画を立てて勉強をしていますか。（している61%〈全国平均52%〉）
- 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか。 ○今住んでいる地域の行事に参加していますか。（している83%〈全国平均42%〉） ○学校の規則を守っていますか。（守っている100%） ○1,2年のときに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか。（思う94%〈全国平均85%〉）
- 自分にはよいところがあると思いますか。 ●友達と話し合うとき、友達の考えを受け止めて、自分の考えを持つことができますか。 ●普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームを読みますか。（4時間以上が22%〈全国平均11%〉） ●携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。（守る35%〈全国平均50%〉）

国語A数学Bは全国平均を下回ったが、数学A国語Bは、全国平均は上回る結果となった。各教科の分析と、今後の対策については上記に記したとおりである。課題であった家庭学習については、時間的にはほぼ全国の傾向とほぼ等しくなり、以前より改善されたと考えられる。また、読書が好きである傾向も続いており、活字離れが叫ばれている中で、本校の生徒は、たくさんの本を読んでいることがわかった。友達と協力したことの喜びを感じたり、学校の約束を守ったりと良い傾向の表れがたくさんある反面、携帯電話やスマートフォンの使い方について課題がある。5人に1人は4時間以上のテレビゲームをしている状況は改善したい。学校では、携帯電話の使い方等、生徒への働きかけをしているが、今後は方法を工夫してこの状況を改善していきたい。